

今号の主な記事

- ◇年末年始の業務案内……………4・5面
- ◇「(仮称)市民参画と協働の推進に関する条例」の素案に対する意見を募集 ……2面
- ◇「20歳を祝うつどい」を開催 ……6面
- ◇保健だより……………8面

「エココミュニティ会議」の設置を支援しています

環境活動を通じて深まる地域の絆



現在、地球温暖化やごみ処理などの様々な環境問題がありますが、次世代へより良い環境を引き継いでいくために、まず幅広い世代が協力し、地域が一体となって取り組むことが必要です。

市は、地域の環境問題について話し合い、身近なところから取り組みができるように各地域で「エココミュニティ会議」の設置を支援しています。市民が自主的に環境活動に取り組むことで、「コミュニティ活動の活性化と、住みよい地域づくりを進めています。問合せは環境都市推進グループ(0798-35-3300)へ。

地域の様々な人がつどい 地域活動を将来へつなぐ場

エココミュニティ会議では、市内の中学校区あるいは小学校区を自安として地域住民・地域事業者などが集まり、環境をテーマとした地域づくりについて話しあいます。会議を通して地域環境の課題や情報を共有し、そして、地域の実情に応じた活動を企画しています。また、会議では、講演会や自然体験活動、タウンウォッチングを実施するなど、子どもから大人まで幅広い世代の人が参加し、新しい出会いを楽しみ、環境問題以外の地域活動にも活発に取り組むことで世代間のふれあいや交流の場となることを願っています。

たとえ小さな活動やつながりであっても、それらを着実に積み重ねていくことで、地域に活力をほぐし、より良い地域環境へ発展していきます。他の地域での活動例を参考に、皆さんの地域でも始めてみませんか。

甲山農地で「大根掘り」を体験

春風エココミュニティ会議
テーマ「親子で自然体験活動」

春風地区は「自然体験を通じて子どもたちと学ぶ」をテーマに活動が進められています。甲山での自然体験活動や農業体験などを通じて、親子で自然の大切さを学ぶ機会をつくっています。



学文エココミュニティ会議
テーマ「地域に広げよう。マイバッグ持参運動」

学文地区では「一人ひとりが身近なことから取り組もう」をモットーに、「マイバッグ持参運動」をテーマとした活動が進められています。地域の量販店などと協力して、地域住民へマイバッグ持参を呼びかけ、レジ袋の使用削減をめざしています。

エココミュニティ会議での活動紹介

現在、市内では「学文」、「浜脇香櫨園」、「塩瀬」、「甲東」、「春風」の5つの地域で活動が始まっています。これらの地域では、自治会および環境衛生協議会、社会福祉協議会、青少年愛護協議会、コミュニティ協会、学校園PTAなどの団体や環境に関心のある人たちが中心となって会議を発足させ、市からの助成金を活用して、地域に根ざした活動を進めています。

ここでは、このうち3つの地域の取り組みを紹介します。各地域の活動の詳細はエココミュニティ情報掲示板ホームページ (<http://info.leaf.or.jp>) をご覧ください。

甲東エココミュニティ会議
テーマ「家庭ごみの減量をすすめよう」

甲東地区は、ごみ収集業者と連携して「家庭ごみの減量」をテーマに活動をしています。ごみ収集業者が所有する計量器付きパッカー車を利用して、ごみステーションにごみ排出量を計測し、ごみ減量にチャレンジしています。

市長からのメッセージ



山田 知市長

私は、市民と共にまちづくりを進めることを基本理念としてまいりました。地球温暖化など大きな環境問題についての取り組みも、レジ袋の削減やリサイクルなど、市民の身近なところから、自主的な活動として展開されていることが大きな自慢です。

また、市民の皆様には市政に貴重なご意見をお寄せいただくと同時に、子育てや教育、景観美化や公園整備など様々な局面でまちづくりに参加していただき、ありがとうございます。本市の人口の豊富さ、市民パワーの大きさを誇りに思っています。来年には市民参画についての条例制定を予定しており、一層の市民参画が進むものと期待しています。

平成19年も最後の月を迎えました。少し早いですが今年を振り返りますと、さくら夙川駅の開設や南北バスの試行運転実施、阪神西宮駅南広場のオープン、そして20年4月からの中核市への移行決定など、本市にとって節目となる大変重要な一年でした。さらなる飛躍をするために来年も一層努力しなければと気を引き締めています。



熱の入った議論が毎回繰り返られています

次号は1月1日号です
(配布は12月30・31日)

配布についての問合せは西宮市シルバー人材センター(0120-72-4833…午前9時～午後5時半。年始は4日から受付)へ。